



歴史講座「絵馬に見る信仰と教育」 ～柳田國男の考えは正しかったのか～

▶茨城のとある神社の絵馬を中心に、柳田民俗学を講義します。

講師：黒澤彰哉氏

(元茨城県立歴史館資料学芸部長)

日時：11月26日(日)

午後2時～3時30分

会場：石岡市立中央図書館読書室

募集人数：先着50人

受付方法：11月1日(火)から中央図書館カウンター、
電話もしくは、いばらき電子申請にて受付。

※プラチナポイント対象事業



◆こども図書館本の森(午前10時～)

4日(日) おはなし玉手箱

9日(火) ひよこのおはなしかい

18日(日) むかしむかしのおはなし会

※ひよこのおはなしかいのみ午前10時30分～

◆郷の本棚やさ図書館

(午後2時30分～)

11日(日) おはなしフレンズ

返却日を忘れていませんか？

返し忘れた本はありませんか？

図書館の資料は石岡市、そして石岡市民一人ひとりの大切な財産です。返却日が過ぎた資料は、お早めにご返却ください。



▲琴の埴輪

時の記憶

シリーズ216

「丸山4号墳(二子塚古墳)の埴輪」

岡文化振興課(支所)

Tel 43-1111(内線1454)

今回は柿岡地区高友にある丸山4号墳(二子塚古墳)から発見された埴輪を紹介します。

丸山4号墳は、全長40m程度の前方後円墳で、古墳を囲むように60本以上立て並べた円筒状の埴輪や、男女の人物の形をした埴輪など、色々な埴輪が発見されています。そのなかでも写真の埴輪は、琴と考えられる埴輪で、刻み目で琴線が表現されています。また剥がれた跡があることから、もとは琴を弾く人物の埴輪に付属していたものと考えられます。

日本の神話のなかには、神のお告げを聞くときに天皇あるいは重臣が琴を弾くという場面が出てきます。ハードロックのギターのように激しく演奏することで、それを聞いてトランス状態になった巫女に神が乗り移り、神のお告げを聞いていたと想像されています。

古墳時代の琴は、音楽を演奏するためのものでなく、神を呼ぶための重要な道具だったと考えられるのです。

丸山4号墳の埴輪は、ふるさと歴史館で開催中の企画展「柿岡古墳群」で展示しています。

期間/12月27日(日)まで

場所/ふるさと歴史館(総社1-2-10)

休館日/月曜日(祝日の場合は翌日)

文芸いしおか

いしおか俳句同好会

冬瓜や力まかせの音で割く
足音を待ちわぶ窓辺猫に月
音信が途絶えて三年月見草
心音を確かむ右手日焼けの手

やさこと俳句会

二世帯をつなぐ中庭青みかん
白菜植う灌水日課続きけり
腰下ろす石に秋冷ありにけり
やうやくに暑を鎮めけり秋彼岸

いしおか川柳会

巢ごもりも良いもんだねと笑う合う
カード買いポンポンと籠の中
祖父も見て俺も見ている水戸黄門
震度7築百年はどっしりと

石岡俚謡会

止まぬ少子化 どうする日本 増加一途の 高齢化
頼り過ぎてた エアコン切って 窓を開ければ 秋の風
三日見ぬ間の 畑の胡瓜 ヘソを曲げます この猛暑
暑中見舞いを 残暑と直し 送る葉書に 少し秋
秋の夜中に 失意の俺と 虫は慰め 共になく
夕日筑波を 茜に染めて 実る稲穂に 初秋の風
梨にブドウに 栗 柿豊富 秋の収穫 宝もの
久しぶりだね 総社の祭り 人出賑やか 笛太鼓

投稿作品
足早に歩く人影秋深む
来し方や朝顔天に色の濃し

菅野 憲枝(南台)

小泉 ちよ子(東光台)

福田 泰夫(東光台)

山口 美津子(総社)

石田 清美(瓦谷)

秋山 享弘(宇治会)

萩原 清(宇治会)

石田 誠一郎(瓦谷)

平野 敬(柿岡)

見明 節子(若宮)

若色 茂(山崎)

安部 正一(東石岡)

香俱耶姫(南台)

坂下 蜻蛉(国府)

醍醐 正夫(東大橋)

若色 茂(山崎)

暁 夢華(総社)

福田 泰夫(東光台)

秋野 もみじ(南台)

見明 節子(若宮)

大塚 豊子(北根本)

宮内 厚子(正上内)

文化協会だより

第46回 「石岡大正琴愛好会」

石岡大正琴愛好会は今年で20年目に入り、現在は1団体で活動をしています。文化祭への参加・体験講座・発表会・研修旅行・ボランティア演奏などを行っています。

大正琴は高齢者のイメージですが、近年ではテレビやラジオ等で活躍する若き演奏家も出てきています。

今年も体験講座を開催しますので、初心者も経験者もぜひご参加をお待ちしています。(貸琴あり)

日時：11月22・29日・12月6・20日(困)

午前10時～正午

場所：国府地区公民館

参加費：無料

〒石岡大正琴愛好会 沖田 TEL 24-0588

